

オムロン株式会社

ブランドコミュニケーション事業部

2026年3月3日

オムロンとタカハシ、AI×ロボットで売上最大 53%増 陳列量の可視化・最適化で販売機会損失の低減を示唆

オムロン株式会社（本社：京都市下京区、代表取締役社長 CEO：辻永順太 以下、オムロン）は、株式会社タカハシ（本社：神奈川県相模原市、代表取締役社長：高橋千佳司 以下、タカハシ）と共同で、2025年10月～12月に実施した店舗運営 DX の概念実証（PoC）において、AI×ロボットによる陳列量の可視化・最適化の有効性を確認しました。

本プロジェクトでは、これまで店舗責任者が目視で行っていた陳列棚の状況や欠品確認を、人手を介さずに画像として収集し、本部で定めた陳列量基準に基づき AI が未充足棚を検知して補充を陳列担当者に促す仕組みを検証しました。推定陳列量の精度向上と棚充足の改善を通じて、顧客体験の向上と一定の売上改善、業務負荷の低減やその結果の従業員エンゲージメントの向上につながる傾向を確認しました。



Before

ロボットによる店舗巡回前
陳列棚が埋まっていない状態



After

AI が充足率を確認して品出しプランを提案
常に商品が充足した状態を維持

■背景・目的

少子高齢化による労働人口の減少で、小売業の人手不足は深刻化しており、店舗運営の省人化が強く求められています。このような背景のもと、店舗の陳列状況をリアルタイムに把握できないケースも多く、本部と店舗の情報連携が遅れ、対策が後手に回るという課題があります。こうした状況を踏まえ、限られた人員で高い生産性と顧客体験を両立できる新たな店舗運営モデルの確立を目的として本プロジェクトを実施しました。

■ 検証結果

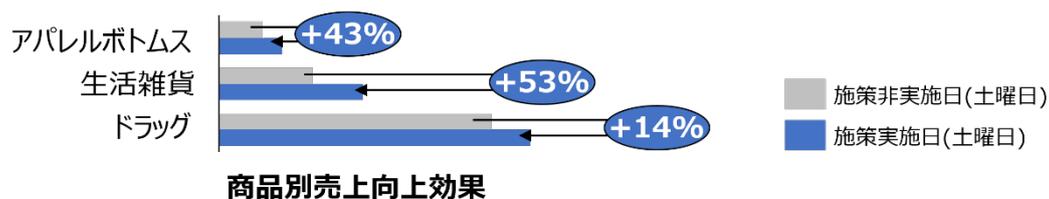
本プロジェクトでは、①店舗運営の省力化 ②販売機会損失の防止 ③顧客体験の向上の3つの観点で実店舗検証を実施し、AI×自走巡回ロボットによる陳列量の可視化・最適化の有効性を確認しました。とくに、対象とした一部商品のカテゴリで売上が最大53%伸長する傾向が見られるなど、効果を示唆する結果が得られました。主な結果は以下のとおりです。

1. 店舗運営の省力化

自走巡回ロボットとAIで棚の状態を日次レポート化し、補充の優先度がひと目で把握できるように改善。これにより、目視巡回の一部を置き換え、無駄な往復や探索時間が減少。実施期間の終盤には、まとめて補充できる場面が増え、品出しの段取りとスピードが向上する傾向を確認されました。

2. 販売機会損失の防止による売上向上

棚の充足状況を可視化し、不足棚から優先的に補充した結果、対象とした一部商品カテゴリで売上が最大53%伸びる傾向が見られました。欠品・補充遅れの早期発見と対応が回ることで、販売機会の取り逃し低減に寄与する可能性を確認されました。



3. 顧客体験の向上と従業員エンゲージメントへの寄与

棚の充足度が向上することで、お客様がたくさんの商品の中から欲しい商品を見つけ出す楽しさを提供する店舗づくりが進みました。あわせて、ロボットをきっかけに現場の会話が増えるなどコミュニケーションが活性化。楽しさ・話題性が仕事の変化につながり、職場満足度やエンゲージメント向上に寄与する傾向も確認しました。

顧客体験・売上・業務の面で効果の兆しが確認され、AI×ロボットによる可視化が複合的な価値を生み得ることが示唆されました。

■ 今後の展開

当社は、本プロジェクトを通じて得られた技術的・運用的な知見を基に、店舗運営 DX の実装を見据えたソリューション開発に引き続き取り組み、現場で定着するサービスの提供を目指します。

また、本プロジェクトの取り組みを一つのモデルケースとして、同様の課題を抱える小売業をはじめとする企業向けに、AIやロボットを活用した店舗運営 DX の取り組みを提供していきます。人手不足や業務効率化、売場づくりの高度化に関心を持つ企業の課題解決に向けて、ソリューション展開を進めていきます。

■ 株式会社タカハシについて

株式会社タカハシは、「everyday low price」を理念とし、衣料品を中心とした生活密着型商品を業界屈指の低価格で提供する流通小売企業です。神奈川県相模原市に本社を構え、関東甲信エリアを中心に50店舗以上を展

開。肌着、靴下、子供服、紳士・婦人服、日用雑貨、加工食品、インテリアなど、幅広い品揃えで地域の暮らしを支えています。日本で唯一「オフプライスストア」のチェーン化を目指し、流通段階で発生する訳あり商品や過剰在庫を独自の仕入れルートで確保。低価格ながら品質にも配慮した店舗運営により、多くの支持を集めています。

創業から70年近くにわたり、地域密着型の店舗運営と柔軟な商品戦略で成長を続けてきたタカハシは、今後もチェーンストア志向を強化しながら、より多くの消費者に価値ある商品を届けることを目指していきます。

<https://tasm.co.jp/about/>

<関連リンク>

オムロン スマート M&S 事業部

<https://datasolutions.omron.com/jp/ja/business/sms/>

ugo 株式会社（ロボット提供企業）

<https://corp.ugo.plus/>

<オムロン株式会社について>

オムロン株式会社は、独自の「センシング & コントロール+Think」技術の中核としたオートメーションのリーディングカンパニーとして、制御機器、ヘルスケア、社会システム、電子部品、そしてこれらの事業をつうじて取得した多種多様なデータを活用したデータソリューション事業を展開しています。1933年に創業したオムロンは、現在では全世界で約2.7万人の社員を擁し、130ヶ国以上で商品・サービスを提供し、よりよい社会づくりに貢献しています。詳細については、

<https://www.omron.com/jp/ja/> をご参照ください。

■ 本件に関する報道関係からのお問い合わせ先

オムロン株式会社 ブランドコミュニケーション部

松岡正美

TEL: 075-344-7175（広報代表）

E-mail: masami.matsuoka@omron.com

■ 事業に関するお問い合わせ先／一般のお客様からのお問い合わせ先

オムロン株式会社 データソリューション事業本部 スマート M&S 事業部

石崎裕樹

E-mail: yuki.ishizaki@omron.com